

2013 年度 業績

学会発表 国際学会

Migita K., Yamada J., Nikaido Y., Ueno S. The intracellular domain of the P2X7 receptor subunit participates in current facilitation and receptor kinetics.

38th Annual meeting of Society for Neuroscience (San Diego, USA) November 9-13 (2013)

学会発表 国内発表

二階堂義和、山田順子、右田啓介、柴祐子、中島敏博、上野伸哉

Repeated green odor exposure and chronic paroxetine treatment attenuate long-term behavioral alterations induced by delay fear conditioning in rats (みどりの香りの反復提示は遅延性恐怖条件付けによる行動反応の長期的変容に対してパロキセチン様の緩和作用を示す)

第 36 回日本神経科学大会 (京都) 平成 25 年 6 月 20-23 日 (2013)

シンポジウム

山田 順子

The role of GABAergic tonic signal in the pathophysiology. (GABA 作動性トニックシグナルと病態)

第 36 回日本神経科学大会 (京都) 平成 25 年 6 月 20-23 日 (2013)

西畠春生

日本神経学会英文誌創刊記念シンポジウム:「英語でどう書く? どう発表する?」, 英文誌への感想や実際の経験談など[Neurology and Clinical Neuroscience に期待すること]. 第 54 回日本神経学会学術大会 (東京) 平成 25 年 5 月 31 日 (2013)

山田順子

Role of GABA_A receptor mediated tonic conductance in Physiology and pathology (GABA_A 受容体を介するトニック抑制の役割)

第 90 回日本生理学会 (東京) 平成 25 年 3 月 27-29 日 (2013)